

### しなやかな日本列島のつくりかた 藻谷浩介対談集 (新潮文庫 2018.09.01)



■藻谷浩介 (もたにこうすけ)・1964年・山口県生まれ、株式会社日本総合研究所主席研究員・地域エコノミスト  
元株式会社日本政策投資銀行特任顧問・広島カープファン  
主著 ①「デフレの正体」②「里山資本主義」(ともに角川 one テーマ 21)

■主著①では、戦後の経済を動かしているのは、景気の波ではなくて人口の波、生産年齢 (15-64 才) 人口減少と高齢者の激増 (65 才-) という客観的事実を共有したい、と言っています。

■主著②では、NHK「マネー資本主義」の番組制作に携わったのをきっかけにして、身近な自然を再生可能な資本として使う、サブシステムを持つことで日本はもっと豊かになる、と言っています。



本書は、そんな藻谷氏の 13 の対話集で文庫本になりました。現地の人を現智の人と言い、八百万の神々と言います。

#### ■第一部・町の未来はどこにあるのか

- ・「商店街」 新雅史 (社会学者) …商店街はなぜ滅びるのか (光文社新書)  
コンビニの普及は商店街によって準備されていた！地域に残る若者は警察か消防かショッピングモール。起業家精神で職住一体を。死後もこの世に残したいものは…。
- ・「赤字鉄道」 宇都宮浄人 (経済学者) …鉄道復権 (新潮選書)  
ポータランドや富山のライトレールの優位性・コンパクトシティのお話など。
- ・「ユカリが丘」 嶋田哲夫 (不動産会社)  
奇跡と言われる千葉県佐倉市ユカリが丘。不動産屋さんが鉄道を敷いて地域開発！
- ・「観光地」 山田桂一郎 (地域経営プランナー) …観光立国の正体 (新潮選書)  
スイス育ちの観光のカリスマ。何人来たかだけでなく何泊か、顧客満足度とリピート率、B 級グルメ・単発イベント・ゆるキャラではなく地域 A 級品のブランディングを！
- ・「空き家」 清水義次 (都市建築再生プロデューサー) …リノベーションまちづくり (学芸出版社)  
現代版家守 (やもり・江戸期長屋の大屋) の実践、東京神田、千代田、歌舞伎町、北九州小倉、岩手県紫波町。公共と民間の連携事業・ノウハウの体系化などのお話。

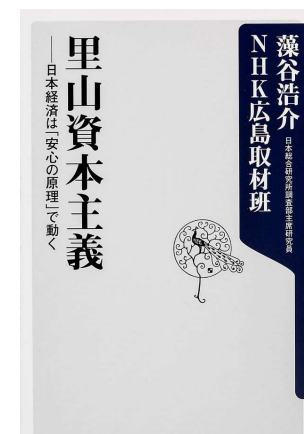


#### ■第二部・いまこそ第一次産業を再考する

- ・「農業」 神門善久 (農業経済学者) …日本農業への正しい絶望感 (新潮新書)
- ・「林業」 速水亨 (速水林業代表) …日本林業を立て直す (日本経済新聞出版)
- ・「漁業」 濱田武士 (漁業経済学者) …日本漁業の真実 (ちくま新書)

#### ■第三部・アップデート (更新) される暮らし

- ・「限界集落」 山下祐介 (社会学者) …限界集落の真実 (ちくま新書)
- ・「医療」 村上智彦 (医師) …医療にたかるな (新潮新書)
- ・「崩壊学級」 菊池省三 (元小学校教師) …学級崩壊立て直し請負人 (新潮社)
- ・「超高齢社会」 水田恵 (株ふるさと代表取締役社長)
- ・「参勤交代」 養老孟司 (解剖学者) …バカの壁 (新潮新書)



■解説：石破茂

自由貸出可 (黒野)